



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月10日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有村 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長CFO (氏名) 鯛 剛和 TEL 03-6866-0245
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の業績 (2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	411	△65.5	△322	—	△323	—	△348	—
2020年2月期第1四半期	1,192	—	△10	—	△22	—	△24	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△223.15	—
2020年2月期第1四半期	△17.11	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	1,409	59	4.1	36.65
2020年2月期	1,399	408	29.0	259.80

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 57百万円 2020年2月期 405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	1,560,864株	2020年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	84株	2020年2月期	84株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	1,560,864株	2020年2月期1Q	1,422,774株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表時現在において合理的な業績予想の算定が困難であるために記載しておりません。詳細は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛や、各自治体からの営業自粛要請等により個人消費が急速に鈍化する等、経済活動が大幅に落ち込み、非常に厳しい状況が続きました。

当社が属する業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、政府より発出された緊急事態宣言により、休業や営業時間短縮を余儀なくされ、当該緊急事態宣言解除後も消費マインドの回復まで至っておらず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People ～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「楽しみに溢れた豊かなライフスタイルをより多くの人々に提案する」という経営方針を掲げ、飲食サービスの健全な成長、コンテンツ企画サービスの拡大を進めてまいりました。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、2020年3月より外出自粛に伴う客数減少の影響が徐々に拡大し、同年4月の緊急事態宣言発出時においては、感染拡大防止策を講じ社会的責任を果たすべく、お客様、全従業員、取引業者様の安全の確保を第一に考え、直営店舗全店の臨時休業を行いました。その後、同年5月においては政府及び各自治体の要請の範囲内において順次営業を再開しており、営業再開店舗においては、衛生管理や感染拡大防止策を徹底するとともに、テイクアウト販売の強化をいたしました。これらの結果、当サービスの売上高は269百万円（前年同期比74.3%減）となりました。

なお、当第1四半期会計期間において4店舗の退店を実施したことにより、当サービスに係る当第1四半期会計期間末の総店舗数は45店舗となりました。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、他社店舗の開業支援業務及び運營業務の受託等、いわゆる企業間取引（BtoB）のビジネスモデルであるプロデュース領域を主軸としておりますが、上記感染症の感染拡大防止策として、他社店舗においても店舗休業や店舗営業時間の短縮等の対応がなされたことにより、当社の売上高にも影響が及んでおります。しかしながら、前年同期間と比較して、株式会社ポケモンのオフィシャルショップ「ポケモンセンターオーサカDX（ディーエックス）&ポケモンカフェ」に係るカフェ店舗、「ピカチュウスイーツ by ポケモンカフェ」、また、株式会社スクウェア・エニックスの公式カフェ「SQUARE ENIX CAFE Osaka（スクウェア・エニックスカフェ オオサカ）」の運營業務等の新規案件を受注していることにより、上記感染症の影響による当サービス全体の売上高の落ち込みが下支えされる結果となりました。これらの結果、当サービスの売上高は、141百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は411百万円（前年同期比65.5%減）となりました。利益面につきましては、過年度からの本社機能及び営業管理機能の業務改善による本社費削減等に伴う販売費及び一般管理費の削減が順調に進んでいるものの、主に上記感染症の影響による飲食サービス売上高の伸び悩みにより、営業損失は322百万円（前年同期は営業損失10百万円）、経常損失は323百万円（前年同期は経常損失22百万円）となりました。また、上記感染症の影響を踏まえ、退店の意思決定を行った直営店舗に係る減損損失23百万円を計上したこと等により四半期純損失は348百万円（前年同期は四半期純損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社は、2020年4月17日に開催された取締役会決議に基づき、今般の新型コロナウイルス感染症による外出自粛等による事業への影響に鑑み、経営の安定化を図るべく手元流動性を厚く保持することを目的に、当社の親会社である株式会社DDホールディングス（以下、「DDHD」といいます。）を借入先とした資金借入枠800百万円の設定を行うとともに、当第1四半期累計期間においてDDHDより600百万円の資金の借入を実行しております。

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して9百万円増加し、1,409百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して46百万円増加し、762百万円となりました。これは主に、現金及び預金267百万円の増加、売掛金189百万円の減少等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して36百万円減少し、646百万円となりました。これは主に、有形固定資産20百万円の減少等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して357百万円増加し、1,349百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して383百万円増加し、1,209百万円となりました。これは主に、上記DDHDからの資金調達による短期借入金600百万円の増加、買掛金107百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して25百万円減少し、139百万円となりました。これは主に、長期借入金15百万円の減少等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して348百万円減少し、59百万円となりました。

これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金348百万円の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響等先行き不透明につき、適正かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。

今後、新型コロナウイルス感染の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	342,263	610,196
売掛金	231,308	41,375
原材料及び貯蔵品	28,650	19,180
その他	113,936	91,618
流動資産合計	716,159	762,371
固定資産		
有形固定資産		
建物	646,759	621,995
減価償却累計額	△434,094	△426,125
建物（純額）	212,664	195,870
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△7,229	△7,451
機械及び装置（純額）	1,770	1,548
工具、器具及び備品	224,803	220,935
減価償却累計額	△203,047	△202,765
工具、器具及び備品（純額）	21,756	18,169
有形固定資産合計	236,191	215,589
無形固定資産	3,603	3,343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,500
敷金及び保証金	436,194	421,286
その他	5,806	5,057
投資その他の資産合計	443,501	427,844
固定資産合計	683,296	646,776
資産合計	1,399,455	1,409,147

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,986	11,096
未払金	86,442	60,356
未払費用	186,662	113,349
短期借入金	200,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	114,032	96,772
未払法人税等	20,108	21,446
資産除去債務	—	4,796
その他	99,664	101,823
流動負債合計	825,895	1,209,641
固定負債		
長期借入金	62,001	46,489
資産除去債務	66,828	62,224
その他	36,469	30,818
固定負債合計	165,298	139,531
負債合計	991,194	1,349,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,752	372,752
資本剰余金	356,752	356,752
利益剰余金	△323,875	△672,161
自己株式	△139	△139
株主資本合計	405,489	57,203
新株予約権	2,771	2,771
純資産合計	408,260	59,974
負債純資産合計	1,399,455	1,409,147

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年5月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
売上高	1,192,853	411,463
売上原価	308,337	111,640
売上総利益	884,516	299,822
販売費及び一般管理費	895,381	621,889
営業損失（△）	△10,864	△322,066
営業外収益		
受取利息	0	0
受取保険金	51	201
受取賃貸料	4,070	5,955
固定資産売却益	—	595
協賛金収入	310	—
その他	421	218
営業外収益合計	4,854	6,970
営業外費用		
支払利息	1,377	1,108
支払手数料	9,609	25
賃借料原価	4,642	6,202
その他	1,153	929
営業外費用合計	16,783	8,266
経常損失（△）	△22,794	△323,362
特別損失		
減損損失	—	23,450
特別損失合計	—	23,450
税引前四半期純損失（△）	△22,794	△346,813
法人税、住民税及び事業税	1,542	1,472
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,542	1,472
四半期純損失（△）	△24,337	△348,286

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

一般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、それに伴い2020年4月7日に日本政府により発令された改正新型コロナウイルス等対策特別措置法第32条第1項の規定に基づく緊急事態宣言を受け、当社においては、当該感染症の感染拡大予防措置として、一部イベントの中止、店舗休業等の対応をとっております。その後、当該緊急事態宣言の解除を受けて、政府及び各自治体の要請の範囲内での営業再開を行っております。

当該感染症の今後の広がり方や収束時期等について統一的な見解がないものの、当社においては、当該感染症の感染拡大の影響が2021年2月期の一定期間にわたり継続するとの仮定のもとに、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該感染拡大の状況や経済環境への影響等が当該仮定と乖離する場合には、当社の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。